



株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

## 2023年3月期 第3四半期決算説明会

取締役専務執行役員 CFO 渡邊明 | 2023年2月6日

# 01 決算概要

# 業績サマリー

## 第3四半期の事業環境

- ・中国ゼロコロナ政策の転換により、新型コロナウイルス感染が再拡大し、製品据付遅延が発生
- ・部品・部材価格の高騰が継続
- ・部品・部材不足は解消しつつも、生産遅延への影響は残った

## 売上高・営業利益 3期連続で過去最高

- ・売上高 : 為替、M&A効果などにより、3期連続で過去最高を更新
- ・営業利益 : 部材価格高騰など押し下げ要因に対し、為替や価格改定効果などにより、3期連続で過去最高を更新

## 事業の概況

- ・計測 : 日本は、PCR試薬の増加と第3四半期から連結となった日水製薬が貢献し増加  
海外は、ヘルスケア分野、環境分野、アカデミア分野向けに重点機種種のLC、MSが増加
- ・医用 : 日本は、前年の補正予算案件の反動減により減収  
海外は、撮影装置が増加し、北米向け近接型X線TVも好調
- ・産業 : TMPは半導体製造装置向けが若干減速したものの、環境性能の高い建材ガラス、太陽電池製造装置向けが増加。加えて、測定機器がEV市場向けに増加
- ・航空 : 社会経済活動の再開に伴い、民間航空機向け搭載機器が増加

\* 為替影響額 売上高 : 115億円 営業利益 : 32億円

注 : 計測重点機種 (LC : 液体クロマトグラフ、MS : 質量分析システム、GC : ガスクロマトグラフ) 、TMP : ターボ分子ポンプ

# 損益計算書

部品・部材の価格高騰や入手難が継続。加えて中国の新型コロナウイルス感染再拡大の影響を受けた。一方、日水製薬新規連結、PCR試薬キットの需要増、価格改定、さらに為替により増収増益。成長投資は計画通りに実行。当期純利益は、営業外収益の為替差損の影響で減益。

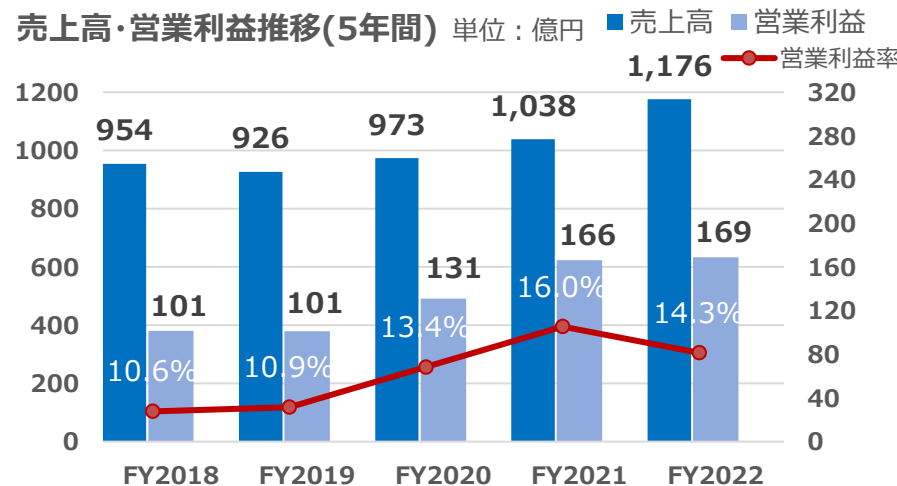
**売上高**  
前年同期比：+138億円/+13%  
**1,176億円**

**営業利益**  
前年同期比：+2億円/+1%  
**169億円**

**営業利益率**  
前年同期比：▲1.7pt  
**14.3%**

**当期純利益**  
前年同期比：▲20億円/▲15%  
**114億円**

業績	単位：億円	第3四半期(10月-12月)			前年同期比	
		FY2020	FY2021	FY2022	増減額	増減率
売上高		973	1,038	1,176	+138	+13%
営業利益		131	166	169	+2	+1%
営業利益率		13.4%	16.0%	14.3%	▲1.7pt	
経常利益		130	173	152	▲21	▲12%
親会社株主に帰属する当期純利益		97	134	114	▲20	▲15%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	104.57	113.77	141.60	+27.83	+24%
	ユーロ(円)	124.57	130.10	144.33	+14.23	+11%
研究開発費		37	41	49	+8	
設備投資額		46	38	57	+19	



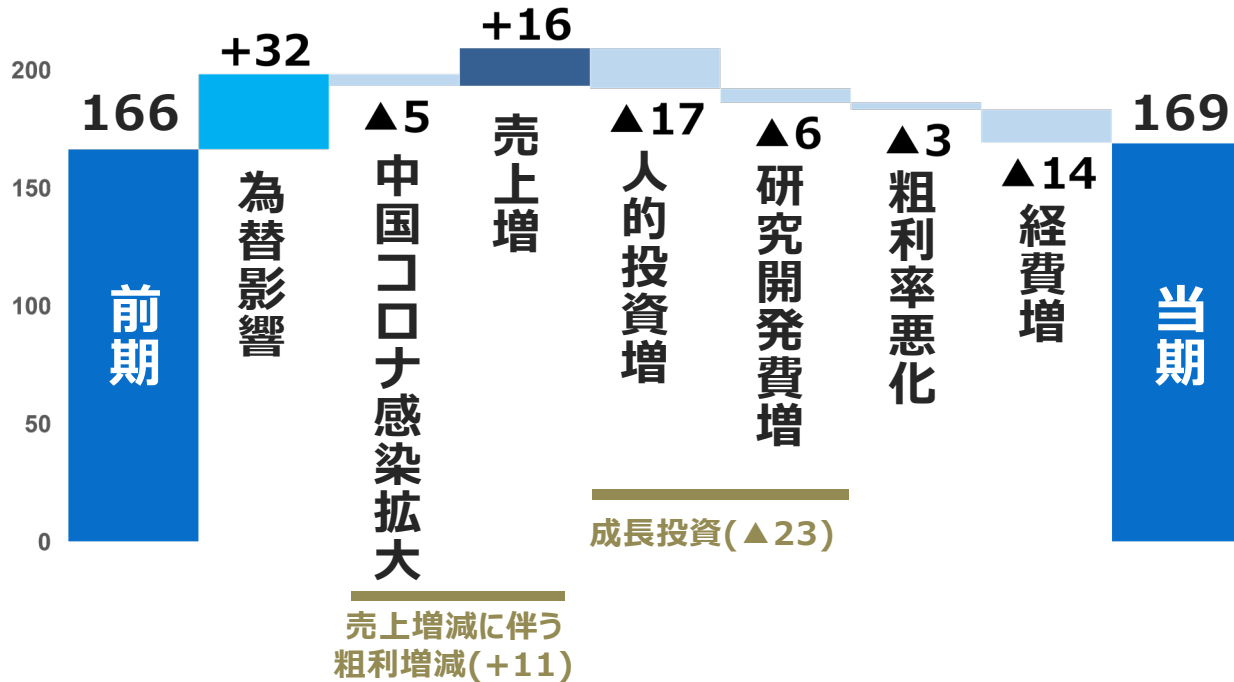
**減価償却費**  
44億円

**為替影響額**  
売上高：115億円 営業利益：32億円  
棚卸未実現利益に対する為替影響がマイナスに作用

# 営業利益増減要因(10-12月)

- ・増収に伴う利益増 : 計測・航空の増収に伴う粗利増
- ・成長投資 : 研究開発投資、人的投資を積極的に実行
- ・粗利率悪化 : 部品・部材価格の高騰影響

単位：億円



単位：億円

	1Q	2Q	3Q	備考
為替影響	+19	+32	+32	
売上増減に伴う粗利増減	▲12	+13	+11	計測と航空が増収 (中国のコロナ感染が再拡大し、製品据付遅延が発生)
中国コロナ感染拡大	(▲21)	(+6)	(▲5)	
その他売上増	(+9)	(+7)	(+16)	
成長投資	▲26	▲11	▲23	コロナ禍で抑制していた研究開発や人的投資を積極的に実行
人的投資増	(▲20)	(▲6)	(▲17)	
研究開発費増	(▲6)	(▲5)	(▲6)	
粗利率改善/悪化	▲1	+7	▲3	部品・部材価格の高騰影響
経費増	▲10	▲11	▲14	物流費などが増加



# セグメント別損益(10-12月)

計測・産業・航空は増収増益、医用は増収減益

## 計測機器：増収増益

売上高：+105億円/+15%  
 営業利益：+8億円/+6%  
 営業利益率：18.2%

- ・売上: 日水製薬連結子会社化、PCR 試薬キット増により増収
- ・営業利益: 部品・部材価格高騰を増収効果で補い増益

## 医用機器：増収減益

売上高：+10億円/+7%  
 営業利益：▲6億円/▲38%  
 営業利益率：5.6%

- ・売上: 海外で一般撮影システムが増加、為替のプラス影響を受けた
- ・営業利益: 部品・部材価格高騰の影響を増収効果で補えず減益

## 産業機器：増収増益

売上高：+12億円/+8%  
 営業利益：+1億円/+6%  
 営業利益率：11.6%

- ・売上: TMPの増加に加え、為替のプラス影響を受け過去最高を更新
- ・営業利益: 部品・部材価格高騰を増収効果で補い増益

## 航空機器：増収増益

売上高：+9億円/+18%  
 営業利益：+1億円/+35%  
 営業利益率：6.2%

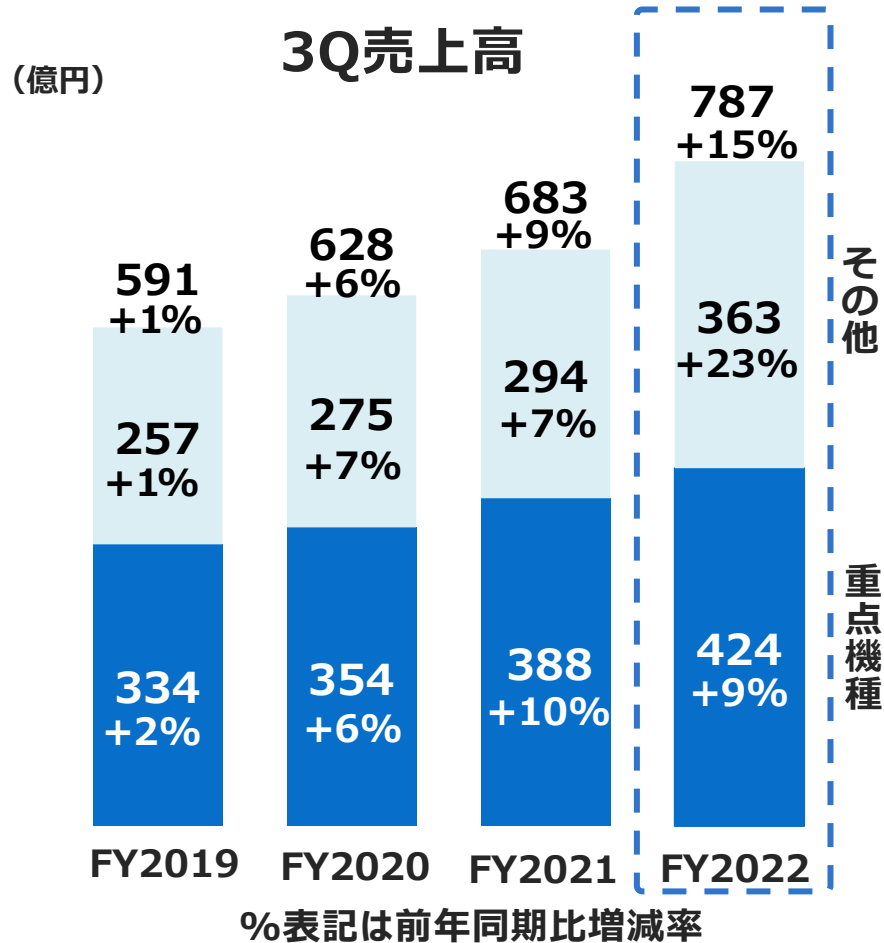
- ・売上: 航空機増産による民間航空機器向け需要の増加
- ・営業利益: 増収効果に加え、収益性も改善し大幅に増益

単位 億円	売上高						営業利益						営業利益率			
	FY2020 3Q	FY2021 3Q	FY2022 3Q	前年同期比			FY2020 3Q	FY2021 3Q	FY2022 3Q	前年同期比			FY2020 3Q	FY2021 3Q	FY2022 3Q	前年同期比 増減
				増減額	増減率	増減率 (除為替影響)				増減額	増減率	増減率 (除為替影響)				
計測機器	628	683	787	+105	+15%	+3%	112	135	143	+8	+6%	▲9%	17.8%	19.8%	18.2%	▲1.6pt
医用機器	157	148	158	+10	+7%	▲3%	10	14	9	▲6	▲38%	▲63%	6.5%	9.7%	5.6%	▲4.1pt
産業機器	117	147	159	+12	+8%	▲0%	10	17	18	+1	+6%	▲44%	8.3%	11.8%	11.6%	▲0.2pt
航空機器	60	49	58	+9	+18%	+8%	1	3	4	+1	+35%	+48%	1.8%	5.4%	6.2%	+0.8pt
その他	10	12	14	+2	+21%	+21%	4	4	2	▲3	▲59%	▲59%	26.6%	24.7%	8.5%	▲16.2pt
調整額	-	-	-	-	-	-	▲6	▲7	▲7	+0	-	-	-	-	-	-
合計	973	1,038	1,176	+138	+13%	+2%	131	166	169	+2	+1%	▲18%	13.4%	16.0%	14.3%	▲1.7pt

## 02 3Q決算セグメント別業績

# 計測機器/機種別売上高・アフターマーケット比率

中国の新型コロナウイルス感染再拡大の影響に加え、部品・部材不足も継続したが、日水製薬連結子会社化、PCR試薬キット増加、為替影響(+83億円)を受け増収【為替影響除く売上高：704億円】



### その他

オンラインTOC計  
TOC-4200

新型コロナウイルス  
変異株 (L452R)  
検出試薬キット

### 重点機種

液体クロマトグラフ  
Nexera XS Inert

液体クロマトグラフ  
質量分析計  
LCMS-2050

液体クロマトグラフ  
質量分析計  
LCMS-9050(Q-TOF型)

液体クロマトグラフ  
質量分析計  
LCMS-8060NX

ガスクロマトグラフ  
GC-2030

### 重点機種売上高

前年同期比 +36億円/ +9%

## 424億円

- ・ LCは医薬・臨床・アカデミア向けに増加
- ・ MSは臨床・受託分析向けに増加

### その他売上高

前年同期比 +69億円/ +23%

## 363億円

- ・ 環境計測機器は水質分析向けに増加
- ・ PCR試薬キットが好調に推移
- ・ 日水製薬連結子会社化で消耗品が大幅増

### アフターマーケット比率

前年同期比 +5pt (売上高+72億円)

## 40%

- ・ 初めて40%を突破



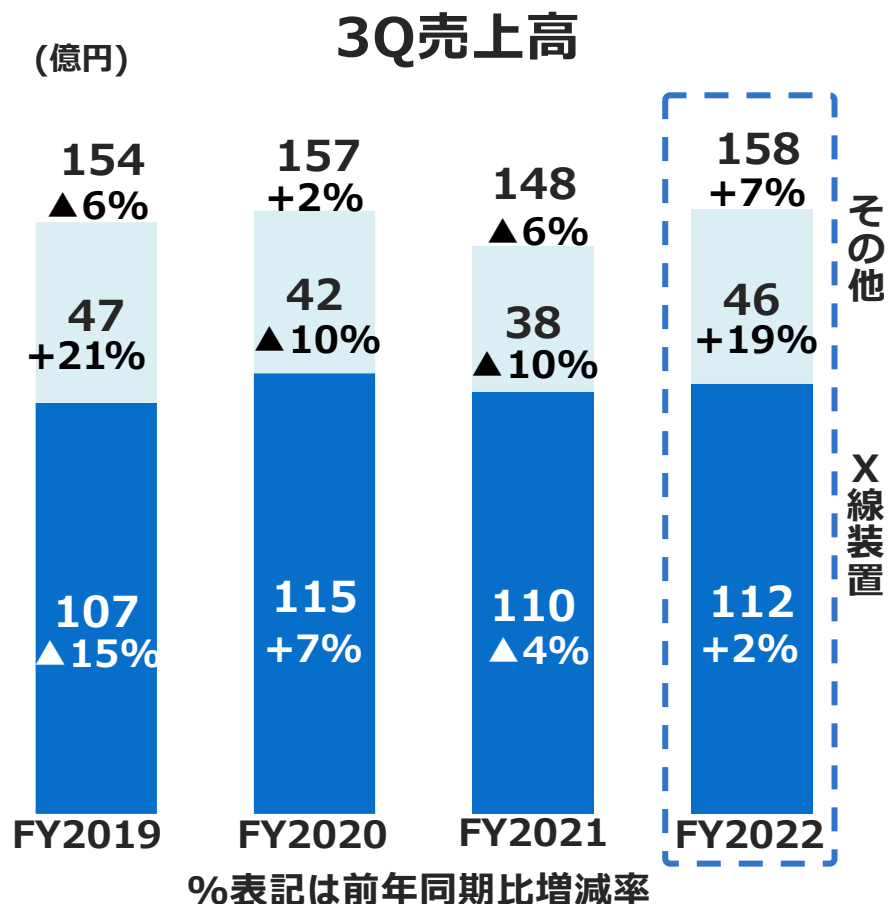
# 計測機器/地域別売上高

- ・日本：日水製薬連結子会社化、PCR試薬キット増加によりアフターマーケット事業が拡大
- ・海外：中国では新型コロナウイルス感染再拡大の影響を受けたものの全地域で増収

単位 億円	FY2020	FY2021	FY2022	前年同期比			概況	
				増減額	増減率	増減率 (除為替)		
日本	1Q	171	216	209	▲6	▲3%	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日水製薬連結子会社化が業績に貢献</li> <li>・新型コロナウイルス検出試薬キットは感染拡大により増加</li> </ul>
	2Q	250	279	291	+12	+4%	+4%	
	3Q	235	245	283	+37	+15%	+15%	
海外	1Q	306	397	408	+11	+3%	▲10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外売上高比率は前年並みの64%</li> </ul>
	2Q	371	414	506	+92	+22%	+1%	
	3Q	393	437	505	+67	+15%	▲4%	
北米	1Q	54	73	71	▲1	▲2%	▲16%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超臨界流体クロマトグラフは製薬市場開拓に貢献</li> <li>・水質汚染問題が注目され、MSや環境計測機器が増加</li> <li>・一部の大手顧客向けLCが減少</li> </ul>
	2Q	69	78	87	+10	+12%	▲9%	
	3Q	66	67	80	+13	+20%	▲3%	
欧州	1Q	49	63	71	+8	+13%	+8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床向けの規制強化に迅速に対応し、LCとMSが増加</li> <li>・ロシア向け事業が停止</li> </ul>
	2Q	64	75	74	▲1	▲1%	▲8%	
	3Q	71	77	91	+14	+18%	+7%	
中国	1Q	137	169	145	▲24	▲14%	▲28%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の設備投資が政府金融支援策により拡大し、LCなどが増加</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大による製品据付遅延</li> </ul>
	2Q	145	158	215	+57	+36%	+9%	
	3Q	161	175	186	+11	+6%	▲14%	
その他の アジア	1Q	51	65	89	+24	+37%	+20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアやインドで医薬向けにLCが増加</li> <li>・台湾や韓国で臨床や食品安全など、ヘルスケア分野向けにMSが増加</li> </ul>
	2Q	70	78	97	+19	+25%	+4%	
	3Q	75	89	110	+21	+24%	+4%	

# 医用機器/機種別売上高・アフターマーケット比率

日本は前年の補正予算案件の反動減があったものの、為替影響(+14億円)を受けX線装置が増加  
 【為替影響除く売上高：144億円】



## その他



TOF-PET装置 BresTome  
 放射線治療用動体追跡システム SyncTrax

## X線装置



X線TVシステム FLEXAVISIONF4  
 近接型X線TVシステム FLUOROsPEED X1  
 血管撮影システム Trinius  
 一般撮影システム RADspeedPro

## X線装置売上高

前年同期比 +2億円/ +2%

112億円

- ・ 一般撮影システムが北米、その他アジア、オセアニアで増加
- ・ 近接型X線TVが北米で増加

## その他売上高

前年同期比 +7億円/ +19%

46億円

- ・ TOF-PET装置BresTomeは第2四半期に引き続き、第3四半期も業績に貢献

## アフターマーケット比率

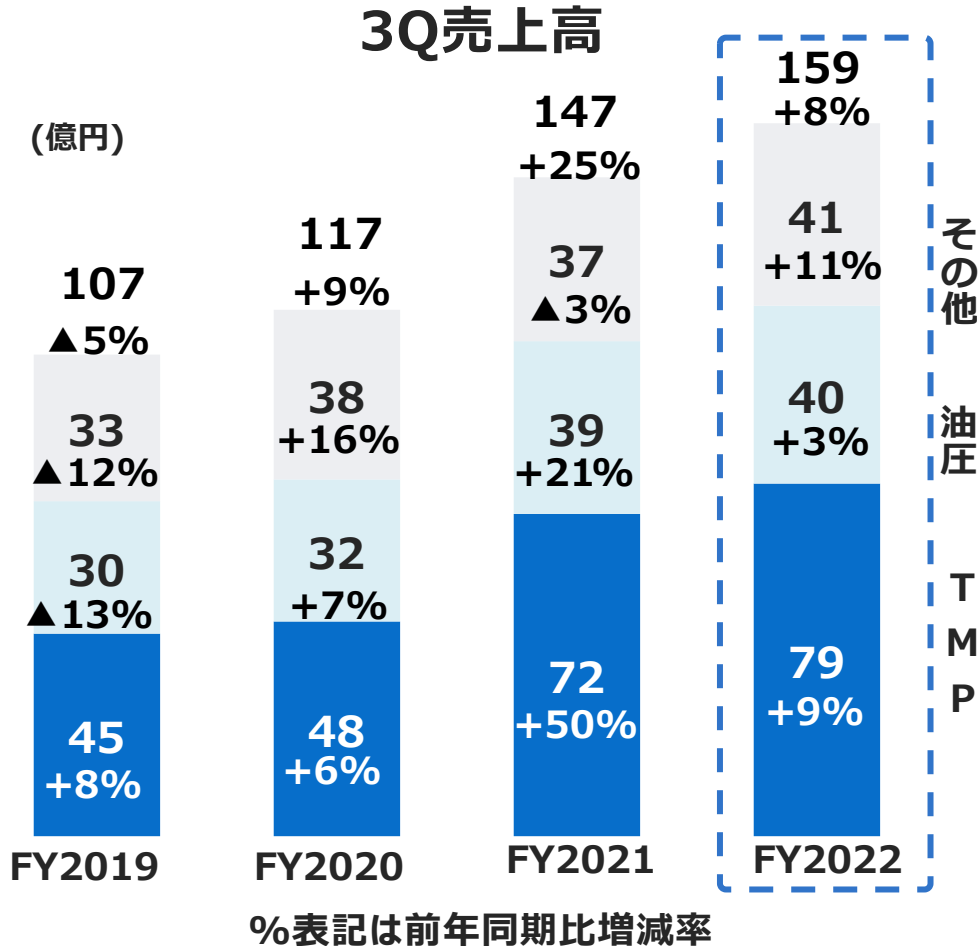
前年同期比+0pt (売上高+4億円)

39%

- ・ 比率は横ばい。製品売上高とともに、アフターマーケット売上高も増加

# 産業機器 / 機種別売上高・TMPアフターマーケット比率

TMPは半導体製造装置向けが減速するも、コーティング向けが補い増加【為替影響除く売上高：146億円】



**その他**



- 工業炉
- リークディテクタ
- ガラスワインダ
- バランス

**油圧機器**



- ギヤポンプ
- コントロールバルブ

**ターボ分子ポンプ (TMP)**



- 電源一体型
- 電源別置き型

**TMP**

売上高 前年同期比+7億円 +9%

アフターマーケット比率 前年同期比+1pt (売上高+1億円)

**79億円** **16%**

- ・半導体製造装置向けが減速
- ・建材ガラス・薄膜太陽電池製造装置向けは増加

**油圧機器売上高**

前年同期比 +1億円/ +3%

**40億円**

- ・一部顧客の生産調整の影響を受けたが、総じて堅調に推移し増加

**その他売上高**

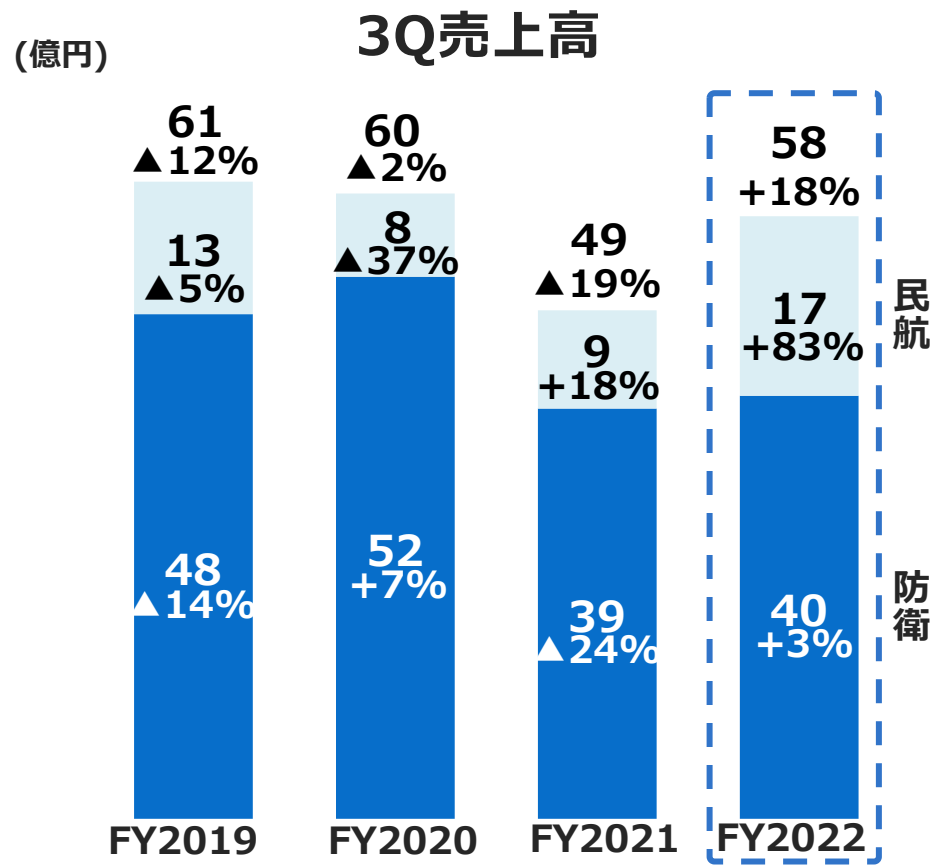
前年同期比 +4億円/ +11%

**41億円**

- ・EV市場向けなどに測定機器が増加

# 航空機器/分野別売上高

民間航空機分野は、社会経済活動の再開にともない航空旅客機向け需要が回復【為替影響除く売上高：52億円】



%表記は前年同期比増減率



**民間航空機分野売上高**  
前年同期比 +8億円/ +83%  
**17億円**

- ・ 旅客需要が回復し、航空機増産に伴い、中小型機向けの搭載機器が増加



**防衛分野売上高**  
前年同期比 +1億円/ +3%  
**40億円**

- ・ 防衛省向け部品販売が増加
- ・ 不採算製品の整理を推進

# 03 2022年度通期業績予想

# 通期業績予想

部品・部材不足の解消に伴い、豊富な受注残の売上転嫁を進めることで、売上高、営業利益ともに3期連続で過去最高更新を目指す

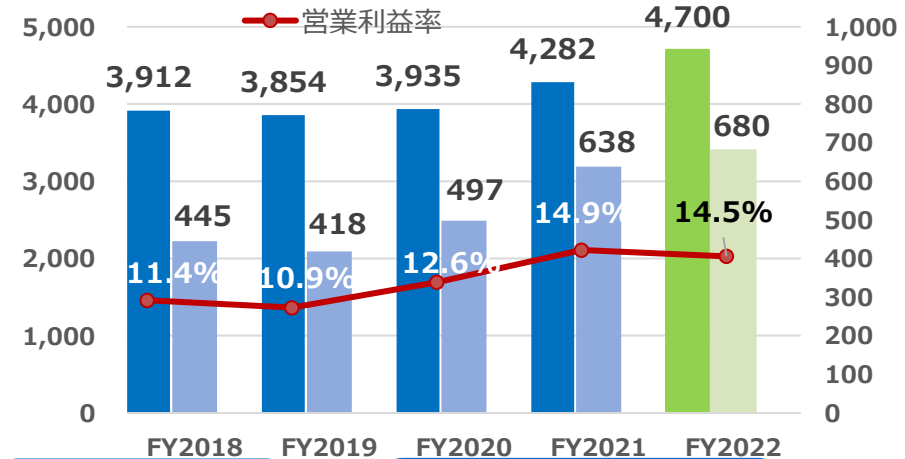
**売上高**  
 前期比：+418億円/ +10%  
**4,700億円**

**営業利益**  
 前期比：+42億円/ +7%  
**680億円**

**営業利益率**  
 前期比：▲0.4pt  
**14.5%**

業績	単位：億円	通期			前期比	
		FY2020	FY2021	FY2022 予想	増減額	増減率
売上高		3,935	4,282	4,700	+418	+10%
営業利益		497	638	680	+42	+7%
営業利益率		12.6%	14.9%	14.5%	▲0.4pt	
経常利益		484	656	680	+24	+4%
親会社株主に帰属する当期純利益		361	473	490	+17	+4%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	106.11	112.43	130.00	+17.57	+16%
	ユーロ(円)	123.75	130.60	135.00	+4.40	+3%
	研究開発費	157	163	190	+27	
	設備投資額	145	164	240	+76	

売上高・営業利益推移(5年間) 単位：億円 ■売上高 ■営業利益 ●営業利益率



減価償却費

170億円

為替感応度

米ドル  
 売上高：12億円  
 営業利益：4億円

ユーロ  
 売上高：2億円  
 営業利益：0.7億円

**配当金** 中間配当22円（前年20円）年間50円（前年48円）予想から変更なし  
 配当性向は30.1%



# 通期セグメント別業績予想

各セグメントにて施策を確実に実行し、目標達成を目指す

## 計測機器：増収増益

売上高 : +10%  
 営業利益 : +8%  
 営業利益率 : ▲0.4pt

- ヘルスケア分野の需要を取り込む
- 新製品を拡販(LCMS-2050、Nexera XS Inert等)
- GX関連事業への取り組みを強化
- アフターマーケット事業の強化

## 医用機器：増収減益

売上高 : +14%  
 営業利益 : ▲1%  
 営業利益率 : ▲1.2pt

- X線TV、血管撮影システムの新製品などを拡販
- アフターマーケット事業の強化

## 産業機器：増収増益

売上高 : +9%  
 営業利益 : +4%  
 営業利益率 : ▲0.5pt

- TMPはコーティング市場向けに拡販
- TMPのアフターマーケット事業を強化

## 航空機器：増収増益

売上高 : +3%  
 営業利益 : 5.9倍  
 営業利益率 : +2.5pt

- 民間航空機向け需要拡大への対応
- アフターマーケット需要を取り込み、採算性改善を図り増益を目指す

単位: 億円	売上高						営業利益						営業利益率			
	FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前回予想比 増減額	前期比		FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前回予想比 増減額	前期比		FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前期比 増減
					増減額	増減率					増減額	増減率				
計測機器	2,775	3,050	3,050	+0	+275	+10%	530	570	570	+0	+40	+8%	19.1%	18.7%	18.7%	▲0.4pt
医用機器	669	760	760	+0	+91	+14%	61	61	60	▲1	▲1	▲1%	9.1%	8.0%	7.9%	▲1.2pt
産業機器	567	620	620	+0	+53	+9%	60	62	62	+0	+2	+4%	10.5%	10.0%	10.0%	▲0.5pt
航空機器	223	230	230	+0	+7	+3%	1	5	7	+2	+6	+493%	0.5%	2.2%	3.0%	+2.5pt
その他	47	40	40	+0	▲7	▲15%	13	10	6	▲4	▲7	▲52%	18.1%	16.7%	10.0%	▲8.1pt
調整額	-	-	-	-	-	-	▲26	▲28	▲25	+3	+1	-	-	-	-	-
合計	4,282	4,700	4,700	+0	+418	+10%	638	680	680	+0	+42	+7%	14.9%	14.5%	14.5%	▲0.4pt

# 背表紙



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所  
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ  
電話：075-823-1673  
E-Mail：[ir@group.shimadzu.co.jp](mailto:ir@group.shimadzu.co.jp)

# 補足資料

# 損益計算書 (4-12月)

<p style="text-align: center;"><b>売上高</b> 前年同期比：+336億円/+11% <b>3,395億円</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>営業利益</b> 前年同期比：+3億円/+1% <b>458億円</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>営業利益率</b> 前年同期比：▲1.4pt <b>13.5%</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>当期純利益</b> 前年同期比：+20億円/+6% <b>359億円</b></p>
--	--	---	--

	単位：億円	第3四半期累計(4月-12月)			前年同期比	
		FY2020	FY2021	FY2022	増減額	増減率
業績	売上高	2,761	3,059	3,395	+336	+11%
	営業利益	327	455	458	+3	+1%
	営業利益率	11.9%	14.9%	13.5%	▲1.4pt	-
	経常利益	325	466	483	+17	+4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	236	339	359	+20	+6%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	106.17	111.16	136.54	+25.39	+23%
	ユーロ（円）	122.41	130.66	140.63	+9.98	+8%
	研究開発費	108	116	136	+20	
	設備投資額	105	101	178	+77	

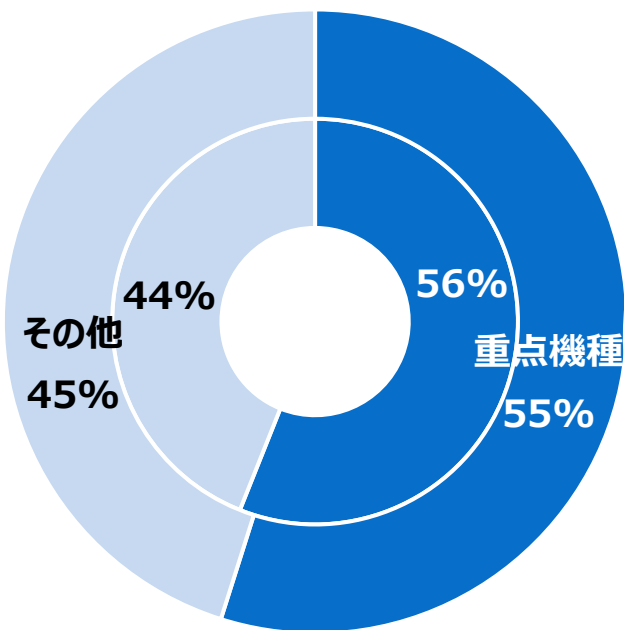
減価償却費	為替影響額
129億円	売上高：311億円 営業利益：83億円
	棚卸未実現利益に対する為替影響がマイナスに作用

# セグメント別損益(4-12月)

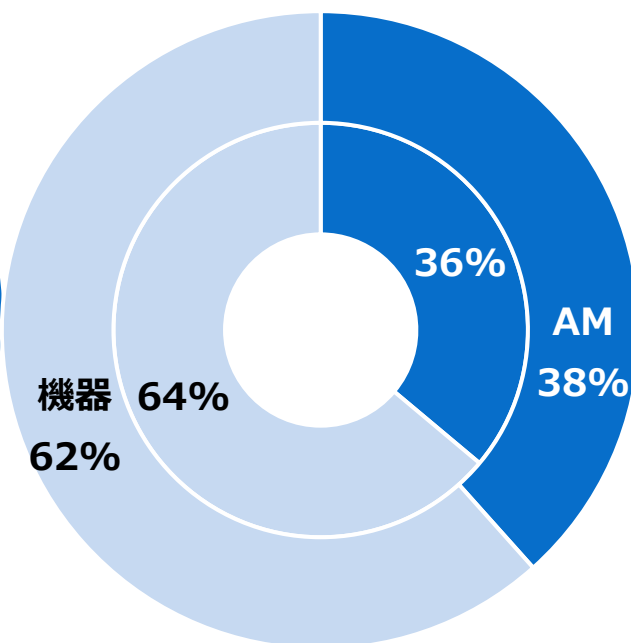
単位 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2021	FY2022	増減額	増減率	増減率 (除為替)	FY2021	FY2022	増減額	増減率	増減率 (除為替)	FY2021	FY2022	増減額	
連結	1Q	943	986	+43	+5%	▲3%	124	94	▲30	▲24%	▲39%	13.2%	9.6%	▲3.6pt
	2Q	1,078	1,233	+155	+14%	+3%	164	195	+30	+19%	▲1%	15.2%	15.8%	+0.6pt
	3Q	1,038	1,176	+138	+13%	+2%	166	169	+2	+1%	▲18%	16.0%	14.3%	▲1.7pt
計測機器	1Q	613	618	+5	+1%	▲8%	110	84	▲26	▲24%	▲34%	17.9%	13.5%	▲4.3pt
	2Q	693	797	+104	+15%	+3%	134	155	+21	+16%	+0%	19.3%	19.4%	+0.1pt
	3Q	683	787	+105	+15%	+3%	135	143	+8	+6%	▲9%	19.8%	18.2%	▲1.6pt
医用機器	1Q	145	164	+19	+13%	+7%	9	2	▲6	▲72%	▲93%	6.1%	1.5%	▲4.6pt
	2Q	176	212	+36	+21%	+11%	18	26	+8	+45%	+22%	10.3%	12.4%	+2.1pt
	3Q	148	158	+10	+7%	▲3%	14	9	▲6	▲38%	▲63%	9.7%	5.6%	▲4.1pt
産業機器	1Q	130	147	+17	+13%	+5%	14	13	▲1	▲5%	▲49%	10.6%	8.9%	▲1.7pt
	2Q	138	157	+19	+14%	+4%	13	13	▲0	▲3%	▲63%	9.7%	8.2%	▲1.5pt
	3Q	147	159	+12	+8%	▲0%	17	18	+1	+6%	▲44%	11.8%	11.6%	▲0.2pt
航空機器	1Q	41	48	+6	+15%	+7%	▲4	1	+5	-	-	▲8.7%	2.4%	+11.1pt
	2Q	61	57	▲3	▲5%	▲14%	0	2	+2	+665%	+880%	0.4%	3.6%	+3.2pt
	3Q	49	58	+9	+18%	+8%	3	4	+1	+35%	+48%	5.4%	6.2%	+0.8pt

# 計測機器/各種売上高構成比率 (4-12月)

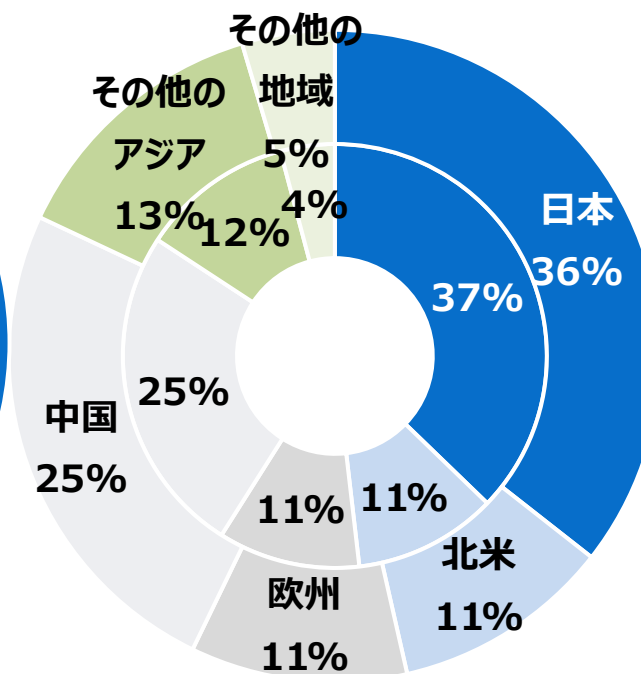
## 機種別



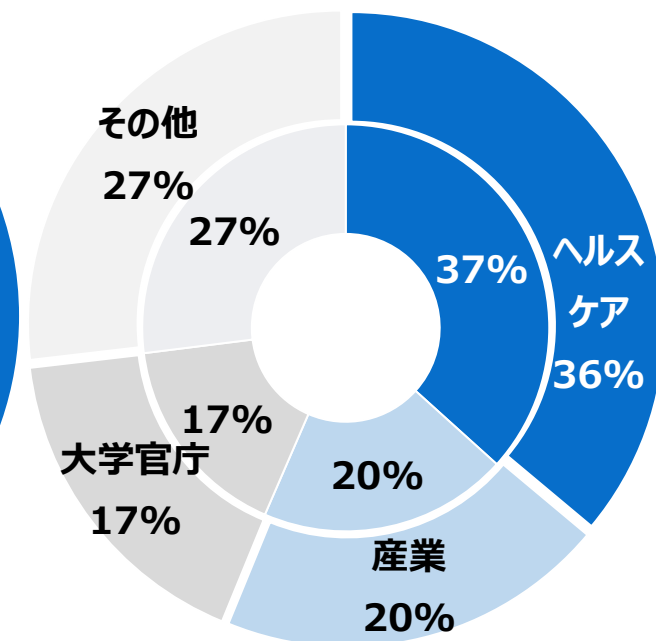
## アフターマーケット (AM) 比率



## 地域別



## 市場別



※円グラフ外側はFY2022実績、内側はFY2021実績を示す



# 計測機器/重点機種売上高前年同期比

部品・部材不足の影響を受けたものの、為替影響により増加

為替影響を含む	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	▲4%	+5%	+6%	+21%	+7%	+24%	+10%	+10%	+3%	+11%	+2%	+14%	+9%
全体	▲4%	▲3%	+6%	+19%	+5%	+29%	+12%	+9%	+4%	+12%	+1%	+15%	+15%

為替影響を除く*	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	▲5%	+2%	+11%	+22%	+8%	+20%	+7%	+4%	▲3%	+6%	▲9%	▲2%	▲5%
全体	▲7%	▲4%	+10%	+19%	+5%	+25%	+9%	+4%	▲0%	+8%	▲8%	+3%	+3%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

\*FY2020は為替及び収益認識基準の影響を除外して比較

# 計測機器/地域別売上高前年同期比

- ・日本：日水製薬連結子会社化によるアフターマーケット事業の増加
- ・海外：中国の新型コロナウイルス感染拡大の影響や、北米の一部大手顧客向けの減少を為替影響により、全地域で増加

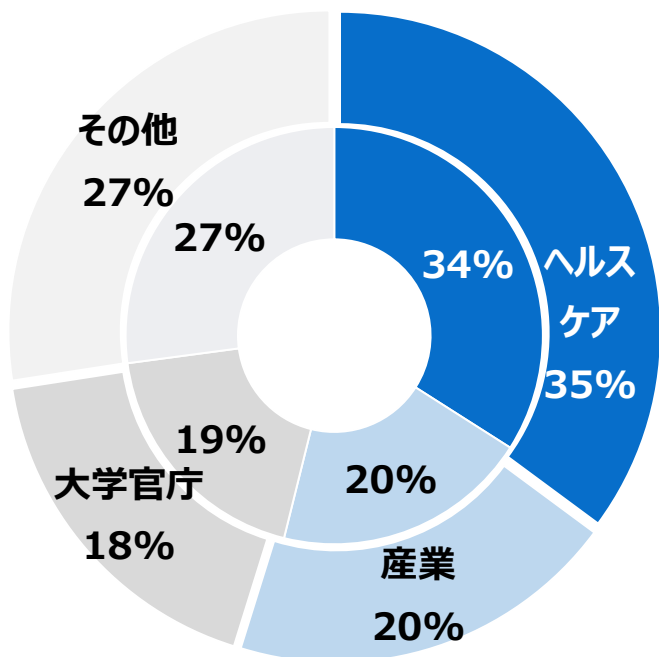
為替影響を含む	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+1%	▲13%	+11%	+14%	+3%	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%
北米	▲7%	+11%	▲10%	+3%	▲1%	+35%	+12%	+2%	+9%	+13%	▲2%	+12%	+20%
欧州	▲9%	▲3%	+8%	+18%	+4%	+28%	+17%	+9%	▲2%	+11%	+13%	▲1%	+18%
中国	+10%	+15%	+11%	+59%	+20%	+24%	+9%	+9%	▲2%	+10%	▲14%	+36%	+6%
その他のアジア	▲24%	▲1%	+6%	+21%	▲0%	+27%	+10%	+18%	+14%	+17%	+37%	+25%	+24%
インド	▲30%	+16%	+5%	+19%	+3%	+4%	+3%	+4%	+12%	+6%	+50%	+22%	+26%

為替影響を除く*	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲11%	▲15%	+15%	+11%	+1%	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%
北米	▲4%	+13%	▲8%	+5%	+1%	+31%	+7%	▲7%	+0%	+7%	▲16%	▲9%	▲3%
欧州	▲5%	▲5%	+5%	+11%	+2%	+15%	+11%	+4%	▲4%	+5%	+8%	▲8%	+7%
中国	+12%	+14%	+18%	+74%	+25%	+22%	+5%	▲0%	▲12%	+4%	▲28%	+9%	▲14%
その他のアジア	▲25%	▲9%	+5%	+25%	▲2%	+22%	+6%	+10%	+6%	+10%	+20%	+4%	+4%
インド	▲35%	▲4%	+4%	+22%	▲3%	+2%	▲0%	▲3%	+3%	+0%	+27%	▲2%	+2%

※インドはその他のアジアの内数  
 \*FY2020は為替及び収益認識基準の影響を除外して比較

# 計測機器/市場別売上高比率 (10-12月)

市場別売上構成比

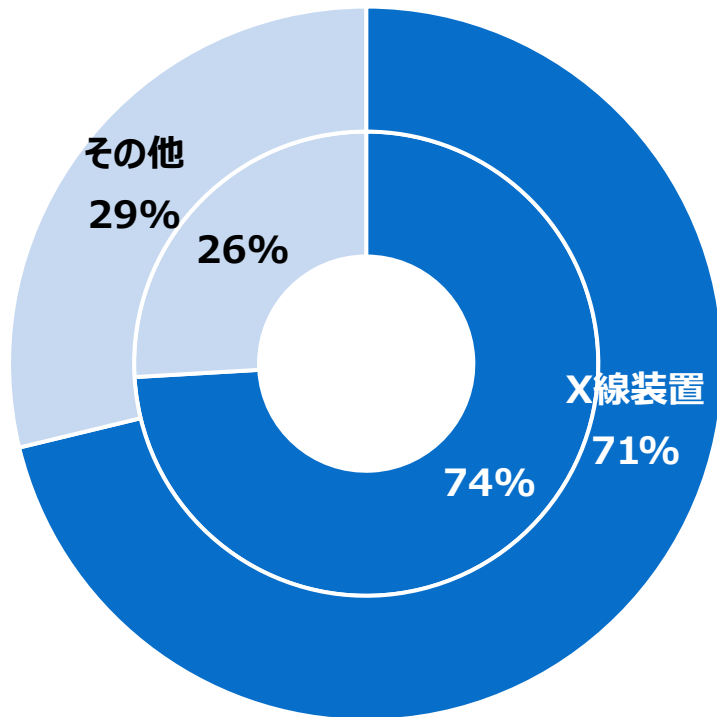


市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期比	概況
	FY2021	FY2022		
<b>ヘルスケア</b> ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	34%	35%	+14%	・日水製薬連結子会社化によりアフターマーケット事業が拡大 ・中国がコロナ感染拡大の影響を受けたものの、欧米やその他アジアで医薬向けにLCが増加
<b>産業関連</b> ●化学・素材 ●電機 ●自動車	20%	20%	+11%	・GX関連が増加
<b>大学・官公庁</b>	19%	18%	+8%	・中国で大学の設備投資が政府金融支援策により拡大し、LCなどが増加

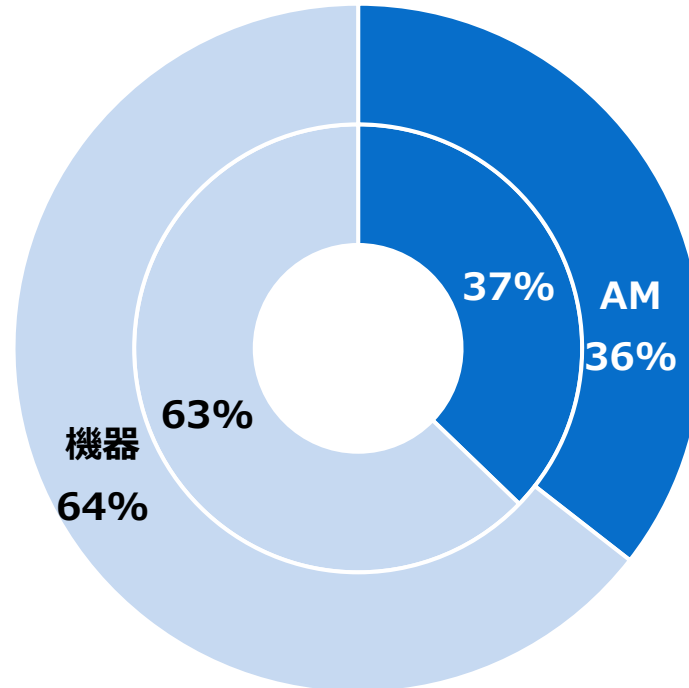
※円グラフ外側はFY2022実績、内側はFY2021実績を示す

# 医用機器/各種売上高構成比率 (4-12月)

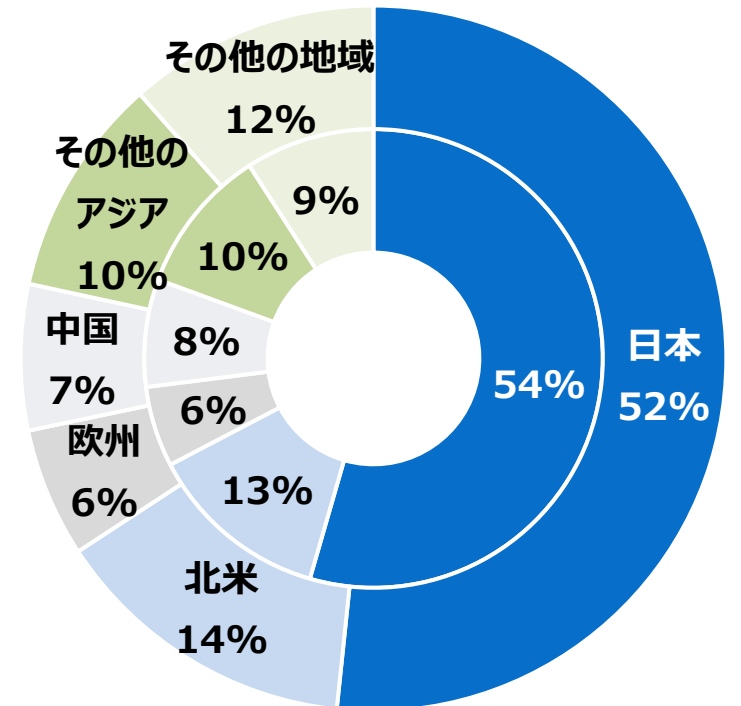
機種別



アフターマーケット (AM) 比率



地域別



※円グラフ外側はFY2022実績、内側はFY2021実績を示す

# 医用機器/地域別売上高

単位 億円	FY2020	FY2021	FY2022	前年同期比			概況	
				増減額	増減率	増減率 (除為替)		
日本	1Q	67	83	94	+11	+13%	+13%	・前年の補正予算案件の反動減
	2Q	92	99	111	+12	+12%	+12%	
	3Q	82	73	71	▲2	▲3%	▲3%	
海外	1Q	64	62	70	+8	+14%	▲0%	・中国での新型コロナウイルス感染拡大の影響や、部品・部材不足の影響を受けたものの、一般撮影装置の増加に加え、為替影響をプラスに受けた
	2Q	83	77	101	+25	+32%	+10%	
	3Q	76	75	86	+12	+16%	▲4%	
北米	1Q	20	20	21	+1	+4%	▲12%	・一般撮影装置が増加 ・近接型X線TVが増加
	2Q	23	19	30	+10	+52%	+22%	
	3Q	19	21	25	+4	+21%	▲3%	
欧州	1Q	8	7	8	+0	+5%	+0%	・X線装置が減少したものの、部品販売が増加
	2Q	12	7	12	+4	+61%	+50%	
	3Q	18	12	12	+0	+2%	▲8%	
中国	1Q	13	10	11	+1	+12%	▲6%	・コロナ感染拡大の影響を受けたものの、一般撮影装置が増加
	2Q	13	14	12	▲2	▲12%	▲30%	
	3Q	13	12	12	+1	+5%	▲16%	
その他の アジア	1Q	10	12	13	+1	+10%	▲2%	・東南アジアで一般撮影システムが増加
	2Q	19	20	23	+3	+16%	▲4%	
	3Q	13	17	18	+1	+7%	▲11%	

# 医用機器/地域別売上高前年同期比

- ・日本：前年補正予算の反動減
- ・海外：中国の新型コロナウイルス感染再拡大の影響があるものの、為替のプラス影響により全地域で増加

為替影響を含む	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲17%	▲35%	▲7%	+8%	▲14%	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%
北米	+12%	+28%	+21%	▲2%	+14%	+3%	▲16%	+11%	+14%	+2%	+4%	+52%	+21%
欧州	+15%	+33%	+54%	+5%	+29%	▲13%	▲39%	▲33%	▲12%	▲27%	+5%	+61%	+2%
中国	+76%	▲23%	+20%	▲22%	+1%	▲25%	+3%	▲11%	▲10%	▲11%	+12%	▲12%	+5%
その他のアジア	▲2%	+56%	▲18%	+29%	+15%	+16%	+7%	+26%	▲22%	+4%	+10%	+16%	+7%

為替影響を除く*	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲15%	▲33%	▲1%	+7%	▲12%	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%
北米	+14%	+29%	+26%	+1%	+16%	+2%	▲19%	+2%	+5%	▲3%	▲12%	+22%	▲3%
欧州	+19%	+30%	+51%	▲3%	+27%	▲21%	▲42%	▲36%	▲14%	▲31%	+0%	+50%	▲8%
中国	+34%	▲33%	+29%	▲25%	▲7%	▲27%	▲1%	▲18%	▲18%	▲16%	▲6%	▲30%	▲16%
その他のアジア	▲9%	+17%	▲4%	+20%	+6%	+15%	+5%	+18%	▲28%	▲0%	▲2%	▲4%	▲11%

\*FY2020は為替及び収益認識基準の影響を除外して比較



# 産業機器/機種別売上高前年同期比

## 全機種が為替影響をプラスに受け増加

為替影響を含む	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	+48%	+37%	+6%	+9%	+22%	+16%	+38%	+50%	+27%	+32%	+20%	+22%	+9%
油圧	▲20%	▲17%	+7%	+6%	▲6%	+37%	+37%	+21%	+5%	+24%	▲1%	+1%	+3%
その他	▲2%	▲21%	+16%	▲16%	▲7%	+33%	+32%	▲3%	+18%	+17%	+17%	+12%	+11%

為替影響を除く*	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	+46%	+36%	+7%	+9%	+21%	+13%	+35%	+44%	+22%	+28%	+11%	+11%	▲1%
油圧	▲19%	▲17%	+7%	+6%	▲6%	+34%	+34%	+18%	+3%	+21%	▲6%	▲4%	▲2%
その他	▲7%	▲20%	+14%	▲16%	▲8%	+32%	+30%	▲6%	+14%	+15%	+7%	+1%	+2%

\*FY2020は為替及び収益認識基準の影響を除外して比較

# アフターマーケット（AM）比率

## アフターマーケット事業は順調に拡大

計測	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上高前年同期比	+1%	+4%	+12%	+22%	+10%	+33%	+16%	+4%	+6%	+13%	▲6%	+5%	+21%
AM比率	37%	33%	35%	33%	34%	38%	35%	35%	35%	36%	39%	36%	40%

医用	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上高前年同期比	+1%	▲8%	+14%	+5%	+3%	+14%	+9%	+2%	+1%	+6%	▲2%	+3%	+0%
AM比率	37%	32%	32%	31%	33%	38%	35%	39%	32%	36%	36%	32%	39%

TMP	FY2020					FY2021					FY2022		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上高前年同期比	+12%	+3%	+11%	+6%	+8%	+18%	+11%	+15%	+5%	+12%	▲1%	▲6%	+4%
AM比率	17%	21%	19%	18%	19%	17%	17%	15%	15%	16%	15%	14%	16%

※FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較  
FY2021, FY2022は為替影響を除外